戸島電柱ペアについて

J0043♀と J0122♂はそれぞれが 2019 年に近親ペアになって営巣していました。J0043 は弟の J0094♂と。J0122 の姉 J0106♀と。J0094 は捕獲され、J0106 は托卵され 2 羽を巣立たせましたが、事故で亡くなってしまいました。コウノトリ野生復帰のプロジェクトの中で、人為的に引き裂かれた者同士がペアとなり、2021 年から戸島の電柱に巣材を運び続けていました。

電柱巣の素材が撤去された 2020 年 5 月には、J0043 が戸島人工巣塔に降り J0294 が巣に戻れないことがありました。J0122 も巣に降りて J0391 は電柱で立ち止まっていたこともあり巣を取られてしまうのかと思ったこともありました。不思議なことに、戸島湿地周辺で過ごしていた J0102 が J0043 を追い払い、J0102 を J0294 が追い払うという行動が見られ、力微妙な力関係で戸島ペアは巣を維持することができていたようです。また、J0122 は戸島ペアが湿地周辺にいないときに、戸島人工巣塔に降り巣材を咥えて（大きな木の枝を選んで）電柱巣に運び、私たちの想像できない行動をして驚きました。2021 年に電柱に巣台が付けられ 3 羽のヒナが巣立ち、2021 年に J0043 は負傷して保護されたまま解放されず、2022 年には J0103♀が J0122 とペアになり 2 羽のヒナが巣立ちました。

2021 年

J0406　右足　青黄　　左足　黄黄　　3550 グラム　8 月 11 日巣立ち

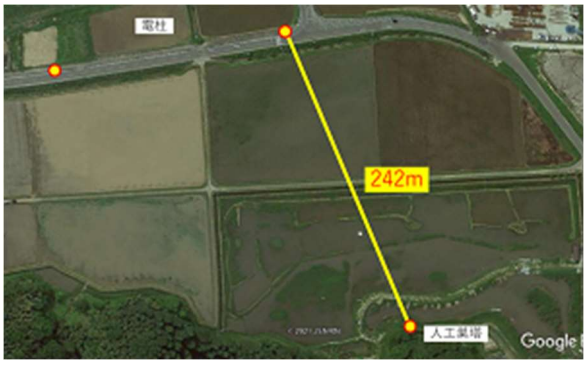
巣立ち後は、周辺の田んぼや湿地上空周辺を旋回した後、湿地南西の農道に降りました。その後、戸島湿地の木柵に登ったり、湿地南の田んぼを歩いたり巣が見える範囲で過ごしていました。6 月 10 日の孵化推定日より、62 日目での巣立ちとなりました。今シーズン最短の巣立ち日数です。。

J0407　右足　青黄　　左足　黄赤　　4100 グラム　8 月 16 日巣立ち　南の農道に降りていた。飛び立つ時刻は分らなかった。

J0409　右足　青黄　　左足　黄緑　　3800 グラム 8 月 16 日巣立ち　飛び立っていて帰巣したのを確認。3 羽のヒナは戸島湿地にも降りて餌を探していました。

台風にもめげずに、3 羽とも無事に巣立ちました。

※10 月 1 日に巣材撤去



2022 年

J0122 が今年も巣台撤去後の電柱に巣材を運び、感電防止対策がとられたようで J0103 とペアになり 2 羽のヒナが巣立ちました。

J0102 が戸島人工巣塔と電柱巣との三角形の間になる電柱に一羽で巣つくりをするようになりました

J0470　右足:青青　左足:緑黒　体重 4,700 グラム　7 月 9 日（土曜日）17 時 49 分巣立ち

湿地西田んぼに降りているのを確認しました。15 時 8 分までは電柱巣にいたのを確認しています。その後、大雨が降り巣にいた 2 羽は J0103 と J0474 でしたので、J0470 がいないことに気付き、探していると西田んぼから農道へ移動し姿を見せてくれました。その際、電気柵を潜り抜けてきました。心配をよそに、その後も農道を歩行し羽を広げたり西側の農道に移動して（その際も電気柵を潜り抜けて）どこに行こうかと。ウロウロしていました。J0122 は近くの電柱にとまったままで降りては来ませんでした。その後、19 時 30 分に南の田んぼの道路沿いに歩いて移動し日没まで田んぼで過ごしていました。

孵化後 66 日目の巣立ち、大雨の後の巣立ちで、一晩南の田んぼで過ごしたようです。朝 6 時に地域の方から J0470 は田んぼを歩いていると電話をいただきました。7 時 40 分、南の農道で休息していました。私車の方へ、羽を広げて歩いてきます。8 時 43 分に飛び立ち、低空を飛びながら巣の付近で高く飛び帰巣することができました。その後は、伏せたり羽繕いをしたり寛いでいたようです

J0474　右足:青青　左足:緑緑　体重 4.5kg　7 月 13 日巣立ち　朝 7 時 47 分に電柱巣には J0470 しかいませんでした。J0474 を探していると、管理棟西側の畑に降りていました。郷公園さんから、昨日の夕刻に降りて一晩を畑で過ごしたと教えていただきました。すぐそばの電柱には J0391 がとまっていて。9 時 30 頃に J0391 が畑に降りて J0474 を追い払おうとしましたが飛び立ちませんでした。お昼まで畑にいるので心配になり見に行くと、私の姿を見て 12 時 56 分に飛び立ち、県道沿いの草地に低空飛行し降りました。その後県道を歩行し 13 時 1 分に、南の田んぼに低空飛行で移動。14 時 2 分に電柱巣に帰巣することができました。孵化後 69 日めの巣立ちです。J0470 は一度も飛び立つことはなく、J0474 の帰りを待っていたのでしょうか。電柱巣の 2 羽は、今年も無事に巣立つことができました。

コウノトリからのメッセージと捉えて何らかの手立てはできないものかと、方々と話し合いを重ねています。本来なら、京丹後市、豊岡市の円山川下流域（気比地区）で営巣していたはずのペアなのですから。（